

あいち自動車環境戦略 2020（愛知県自動車排出窒素酸化物及び自動車排出粒子状物質総量削減計画）（案）に対する構成員からの意見等の内容と事務局の考え方

意見等の内容	事務局の考え方
<p><津島市></p>	
<p>P 4 3の項目 世代自動車→次世代自動車では。</p>	<p>修正します。</p>
<p>P54 1 (2) 低公害建設機械の使用促進は、<行政>となっているが、事業者も含まれないか。</p>	<p>「事業者」を追加します。</p>
<p>P56 (2) 排出ガス規制の強化等 <NPO、行政>となっているが、規制行政であれば、行政のみの規制でよいと感じる、しかし自主規制を含むものであれば、事業者取り組みに入れてもよいのでは。</p>	<p>本文2行目「排出ガス規制の強化等の大気汚染物質排出量削減に向けた取組」を「排出ガス規制の強化や大気汚染物質排出量削減に向けた取組」に修正するとともに、「事業者」を追加します。</p>
<p>P68 (6) 環境教育の推進 企業内教育でエコドライブ研修は、普及してきている。エコドライブに関する環境教育は、体験を持って成果が出易い教育である。記載されていないので加えたらいかか。</p>	<p>P67 (3) にエコドライブ体験等の講習会の実施について記載しています。</p>
<p>P71 2 (1) 公共交通機関の整備、<NPO、行政>となっているが、民鉄系も含まれるので、事業者を加えてもよいのでは。</p>	<p>「事業者」を追加します。</p>
<p>P76 1 (4) 規制行政であるので、<NPO、行政>となっているが、行政のみでよいのでは。</p>	<p>「NPO」を削除します。</p>
<p>その他</p>	
<p>・取組みの主体は3つの分類、事業者、NPO、行政の区分で明記しているのは承知しているが、愛知県は、産学官民の取組事例が多く存</p>	<p>産学官の取組としては、P78(7)が挙げられますので、ご意見を踏まえ、「産・学・行政の連携によるITSの推進」と</p>

<p>在し県の特色でもある。学校（教育・研究機関）は、この分類ではどこに入るのか、豊田市の実証実験事例のようなハーモライドの運用は、学校（教育・研究機関）が行っている。県内でも多くの産学官民の取組みがなされているので、学の役割をどこかで表現はできないか。</p> <p>・啓発という表現が多く使われているが、啓発なのか・広報なのか・教育なのかを明確にした方がよりわかりやすいのでは。</p>	<p>修正します。</p> <p>適切な用語に修正します。</p>
<p><愛知県商工会議所連合会（名古屋商工会議所）> ></p> <p>名古屋商工会議所としても、環境省が進めている「スマート・ムーブ」への登録を呼びかけているが、次世代自動車の普及やそれに係るインフラの整備、さらにエコドライブの推進など同戦略を通じて推進されたい。</p> <p>自転車利用の促進については、大気環境の改善に資するものであるが、自転車通勤を優遇する通勤手当導入については、企業個別の判断もあるため、慎重に進められたい。</p> <p>また、自転車利用の拡大に伴い、近年悪化している交通マナーの向上についても特段の配慮をされたい。</p>	<p>策定する戦略に基づき、関係者と連携しながら推進していきます。</p> <p>「自転車通勤を促進する通勤手当制度の導入促進」は、自転車利用の促進策の1つの例として掲げたものであり、基本的には各事業者の判断によるものと考えております。</p> <p>自転車利用の拡大に当たっては、ご指摘の交通マナーの向上はその前提であると思います。</p>
<p><一般社団法人日本ガス協会（東邦ガス株）> 2. あいち自動車環境戦略2020（案）について (1)「目標値」と「戦略の取り組み内容」の相関関係について 総量削減計画としてNO₂、PMは値を含め目標値が記載されていますが、温室効果ガスについては文章の記載があるのみ</p>	<p>戦略で掲げた次世代自動車等先進エコカーは、CO₂の削減効果のほか、NO_xやPMの削減にも大きな効果があります</p>

で、具体的な取り組み内容が触れられていないように感じます。

そこで、エコカー導入作戦は、ほとんどがHV、PHVに依るところが多く大半が一般乗用車等のガソリン車を対象とする作戦だとすると、これによる効果は、NO₂・PMの総量削減目標よりも温室効果ガスの目標に寄与するところが大きいという理解でよろしいでしょうか？また、総量削減目標に寄与するところが大きいのがディーゼル車であるとする、ディーゼル車対策がこれに該当する取り組みでよろしいでしょうか。厳密には明確に区別できないと認識しておりますが、目標と取り組み内容の関連付けが明確になるとわかりやすくなると思います。

(2) 61ページの「商用車のうち走行距離が限られる路線バスや小型配送車についてはその電動化（EV化）」と記載されていますが、電動化だけでなくエネルギー源の多様化という観点からも天然ガス自動車も一定の役割を担うと考えます。「天然ガス自動車」も併記いただくことについてご検討いただくことは可能でしょうか。

3. 愛知県一般公用車導入計画について

61ページには、2020年度の目標値を記載いただいておりますが、現状の構成割合や導入割合もお示しいただくことについてご検討いただくことは可能でしょうか。これによって、2020年度の目標レベルが明確になると考えます。

ので、特に車種別に区分した目標は掲げておりませんが、できる限り排ガス性能の高いEVやPHVなどの普及拡大を進めていくこととしております。

特に走行距離の観点からEVとNGVのすみ分けも必要であると考えております。

一般公用車の導入目標は、次世代自動車等の今後の普及見通しなどを踏まえて設定したもので、現状とは大きく乖離しておりますので、現状の構成割合等は特に示しておりません。

<p><中部地方整備局></p> <p>・P35 (7)緊急対策地域改善作戦 について</p> <p>【意見】 緊急対策地域改善作戦とはどのようなものか？</p> <p>(公文書等が存在するのか、いつからあるのか、目標時期等設定されているのか?)</p> <p>【質問】 ……全測定局(10局)で環境基準を達成しました。とあるが、全10局はどこでしょうか？</p> <p>・P79 自動車交通集中地域等の対策の推進実施するのが〈行政〉となっているが、「また、…」以降は愛知県が実施するという事によろしいか。</p>	<p>現行戦略の7つの作戦の一つで、そのP64～66に示しております。</p> <p>名古屋南部地域における大気汚染防止法に基づき常時監視を行っている測定局で、「熱田神宮公園」「八幡中学校」「港陽」「白水小学校」「千竈」「元塩公園」「惟信高校」「東海市名和町」「東海市横須賀小学校」及び「国設飛島自動車交通環境測定所」の10局です。</p> <p>「行政」の中で環境を所管する機関が調査・研究を実施しますが、効果的な施策は、道路管理者等の関係者と連携・協働しながら進めるものです。</p>
<p><名古屋高速道路公社></p> <p>あいち自動車環境戦略2020では、自動車騒音の目標がH32年度までに環境基準達成となっておりますが、県内の幹線道路(国道区間を含む)全てが対象と考えて良いのでしょうか。</p>	<p>幹線道路を含む県内の全ての道路を対象としています。</p>
<p><特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会></p> <p>P79の第7節の部分で、もう少し具体的な施策内容等を書き込むことはできませんでしょうか？</p>	<p>第5章第7節で、自動車交通が特に集中している地域について、優先的に各種自動車環境対策を推進する旨記載しておりますが、これは、その他の節(1～6, 8, 9)で記載した具体的な取組を優先的に推進するという趣旨です。</p>